

Book Review

デンタルハイジーン BOOKS みるみる身につくペリオの教養

関野 愉 著

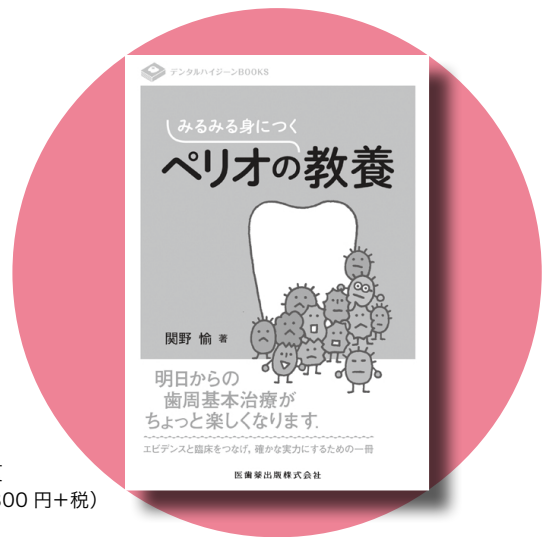


Reviewer

大月基弘 Motohiro Otsuki

(大阪市・DUO specialists dental clinic)

A5判, 136頁
定価(本体2,800円+税)
医歯薬出版刊



この本のタイトルにまず惹かれてしまった。「ペリオの教養」、ステキな響きである。

教養とは、文部科学省いわく「個人が社会とかかわり、経験を積み、体系的な知識や知恵を獲得する過程で身につける、ものの見方、考え方、価値観の総体」であるらしい。評者は粗野で教養のない人間であるが、単純な知識の集積には意味がなく、深く理解、解釈し、正しい行動に結びつけることができる能力を育てることに意味があると考え。すなわち、教養を身につけるには時間がかかり、多くの場合は優れた指導者が必要となる。それが医院で働く歯科医師、歯科衛生士が個々にある程度共通の教養を身につけると、これは並大抵のことではない。論文ベースで知識、技術の正しさを確かめ合いながら医院のコンセプトを固めること自体、努力と時間がかかることであろう。

評者は「はじめに」と「あとがき」

から本を読むのだが、そこには実に関野先生らしいコメントが書かれてある。いわゆる王道である。小さなハンドブックサイズの本であるが、内容は相当に骨太で、すべての歯科医師、歯科衛生士が基本として知っておくべきことが満載である。また昔からの古い知識だけでなく、最新病因論における「キーストーン病原菌」や「PSD(複数細菌による共同作用とディスバイオシス)」についてのわかりやすい説明、2017年11月にシカゴで、アメリカとヨーロッパ歯周病学会の共同で作られた新歯周炎分類国際基準にまで触れている。いわゆる最新の歯周病教育本なのである。

このように、かなり新しい情報にも触れており、評者の知らない情報も結構あって、自分の知識のアップデートの役に立った。多くの論文を読まない歯科医師、歯科衛生士にとっても非常に役に立つ本であることは間違いない。とにかくどんどん読み進めること

ができる。だから楽しい!

薄くて読みやすく、イラストもかわいいのだからなめてはいけない。一つひとつの言葉の裏には深遠なる歯周病学で積み重ねられたエビデンスがあり、よく読むとその深い意味がよくわかる。私はペリオオタクだから! と自負する歯科医師、歯科衛生士にも十分に納得していただける良書ではないだろうか。手にとって可愛い、読んで楽しい、内容は濃いと一度に三度美味しい本である。

評者は読み終えるやいなや、当院の歯科衛生士一人一人にこの本をプレゼントしたいと思い、早速注文した。当院の「ペリオ教科書」認定である。まずは、この本を熟読してもらってディスカッションすることで、当院のペリオコンセプトをさらに深めていき、最終的にそれぞれが「ペリオの教養」を身につけるきっかけとなってくれば嬉しい。